

平成26年度 第1回 全国メディカルコントロール協議会連絡会 プログラム  
～救急業務に携わる消防職員の教育とMC医師の果たすべき役割～

I 開催

1 日時

平成26年5月30日(金) 15時45分から17時45分 (2時間)

2 場所

宇都宮東武ホテルグランデ 6階 「龍田」 (栃木県宇都宮市本町5-12)

II 趣旨

メディカルコントロール活動の主要な業務の一つに、教育がある。救急救命士制度発足後は、救急救命士に対する教育・研修に焦点があてられがちであったが、今日、救急隊員や通信指令員など救急業務に携わる消防職員全体に目を向けた教育体制の強化が求められている。総務省消防庁「救急業務のあり方に関する検討会」では、平成24年度以降、救急業務に携わる職員の教育のあり方が議論され、救急隊員の生涯教育、通信指令員への救急に係る教育、さらには指導的立場の救急救命士(指導救命士)の育成について議論されてきた。その結果、「救急業務に携わる職員の生涯教育の指針」、「通信指令員の救急に係る教育テキスト」がまとめられ、これらの教材を活用した職員への教育が期待される場所である。この指針では、新任救急隊員に始まり、現任救急隊員、救急隊長、そして救急救命士および指導救命士まで役割に応じた教育カリキュラムを体系化し、救急業務に携わる職員の生涯教育のあり方が示されている。

この教育指針は、個人への研鑽姿勢と組織への教育体制の充実を期待するものであるが、同時にその内容や運用の評価については医師による指導・助言が不可欠である。今回、指針等の成果物作成に関わった関係者からお話を伺い、教育のあり方を討議し、具体的な運用について議論を深める。

III プログラム

1 開会 (15時45分から15時50分) 【5分】

全国メディカルコントロール協議会連絡会 小林國男会長 挨拶

2 第1部 発表 (15時50分から17時05分) 【75分】

「救急業務に携わる消防職員の教育とMC医師の果たすべき役割」

座長	市立堺病院 副院長 自治医科大学医学部 救急医学 教授	横田 順一朗 鈴木 正之
コメンテーター	日本医師会「救急災害医療対策委員会」副委員長(愛知県医師会理事)	稲坂 博
コメンテーター	厚生労働省医政局指導課 救急・周産期医療等対策室長	田中 剛
コメンテーター	総務省消防庁救急企画室 救急専門官	日野原 友佳子
発表者	厚生労働省医政局指導課 救急・周産期医療等対策室 病院前医療対策専門官 「救急医療体制とメディカルコントロール」 神戸市消防局 警防部司令課長(前消防庁救急企画室 課長補佐) 「救急業務に携わる職員の生涯教育の指針 Ver.1」の紹介	酒井 智彦 定岡 由典

北里大学医学部 救命救急医学 教授 浅利 靖  
「救急隊員の生涯教育について」

帝京大学医学部 救急医学講座 主任教授 坂本 哲也  
「通信指令員の救急に係る教育について」

杏林大学医学部 救急医学教室 教授 山口 芳裕  
「指導的立場の救急救命士育成」

3 第2部 討論 (17時05分から17時40分) 【35分】

4 事務連絡 情報提供 (17時40分から17時45分) 【5分】